

東北大学公共政策大学院への講師派遣について

【日 時】 平成28年11月19日(土)

【場 所】 東北大学公共政策大学院
(片平キャンパス)

【科 目】 「市町村議会議員講座」のプレセミナーにおける講義

【説明者】 内閣府地方分権改革推進室 参事官 穴戸 邦久

【参加者】 市議会議員、学生ら21名

【概 要】

- 戸澤英典院長、荒井崇教授の進行の下「地方分権改革の最前線－経緯・成果・提案募集－」と題し、地方分権改革のこれまでの取組、提案募集の概要など最新の状況、地方分権改革による成果事例を講義した。
- 参加者である市議会議員からは、「今後の地方分権改革には広域連携による対応も重要であると考えるが、そのために何が必要か。」、「外国人の生活保護のように対応が明らかでない事務について、地方分権の観点からはどのように考えるか。」などの質問が寄せられ、活発な意見交換が繰り広げられた。
- そもそもなぜ地方分権改革が進められたか、根本に立ち返って市議会議員や学生が考える良い機会となった。

